

子ども虐待に苦しむ親子へ  
医療の現場から光を

# 虐待対応プログラム BEAMS

令和6年度診療報酬改定で 小児かかりつけ診療料 の見直しが行われ、  
届け出要件の「虐待に関する適切な研修」に BEAMS Stage I が推奨されました  
より多くの方にご受講いただけるよう、オンライン（Zoom）での開催を企画いたしました

## 【第9回】

日時：2024年12月12日（木）19：00～20：30（予定）

対象：どなたでもご参加いただけます。

講師：仙田 昌義（総合病院 国保旭中央病院）

参加費：2,000円（非課税）

お申込み：日本子ども虐待医学会のホームページから  
お申し込みください。

<https://beams.jamscan.jp/>



## 【第10回】

日時：2025年1月16日（木）19：00～20：30（予定）

対象：どなたでもご参加いただけます。

講師：米山 法子（市立秋田総合病院）

参加費：2,000円（非課税）

お申込み：日本子ども虐待医学会のホームページから  
お申し込みください。

<https://beams.jamscan.jp/>



## 【お問い合わせ】

一般社団法人 日本子ども虐待医学会（JaMSCAN）事務局  
〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-5-31 チェリーヒルズ金田2階B号室  
TEL 0463-95-4166 FAX 0463-90-2716  
E-mail: [info@jamscan.jp](mailto:info@jamscan.jp)  
<https://jamscan.jp/>



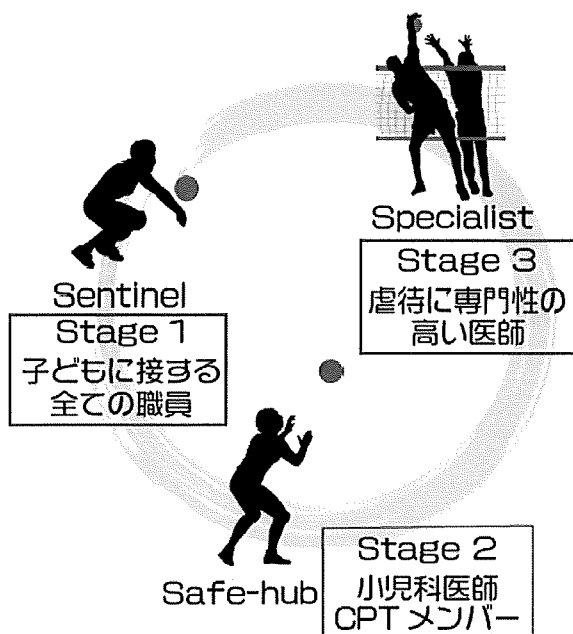
# BEAMS

医療機関向け虐待対応  
啓発プログラム



皆で虐待の問題に光を当て  
崩れゆく家族を梁のように支え  
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

\*beam=光の束、梁、心からの笑顔



## Stage 1:

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

## Stage 2:

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

## Stage 3:

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者 26,118人  
Stage 2 受講者 7,011人  
Stage 3 受講者 302人

子ども虐待対応の  
共通言語として  
全国に広がっています

\*2024年5月現在

## 2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく  
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！

<https://beams.jamscan.jp/>

